

2008年5月19日

「活性化委員会の見解」を受けて

関西テレビ放送株式会社

本日、関西テレビ活性化委員会より2008年4月11日付当社「コンプライアンス・CSRレポート（2007年度）」に対する見解を頂戴致しました。これは4月11日の委員会でのご審議を経てお纏め頂いたものです。

当社の現在の取り組みについて、活性化委員会の方々には、この1年あまりに及ぶ再発防止や再生に向けた活動についてなど随所に高い評価を頂きました。ご指摘をいただいた部分については、早急に取り組み、実現させる所存です。

[レポート全般] につきましては、今回から報告書本来の意味を改めて見直し、企業としての関西テレビが、視聴者の皆様ひいては社会全体に向けて発信すべきものと捉え、スタイルを変えたものでしたが、ご指摘にありますように、今後も今回のレポートの形式を基本として、視聴者の皆様に向けた活動報告を続けて参る所存です。

また、発行につきましては、3カ月に1度とさせていただきます。

[メディアリテラシー] につきましては、レポート内でもご紹介させていただきましたが、立命館大学との共同研究を4月中旬より開始いたしました。そして今月26日には、当社制作部のプロデューサーが、実際に講義に参ります。

また、当社の一連のメディアリテラシー活動を皆様にご理解いただくために、近々当社ホームページ上に「メディアリテラシー活動について」といったサイトを設け、逐一ご紹介できる場とする予定でございます。

[経営機構改革] につきましては、ご指摘の部分を含め、諸制度等を様々な角度から再度検討しているところでございます。それらの結果を来月の定時株主総会、並びに取締役会におきまして反映させるべく、鋭意努力いたします。

そして、次回の委員会で詳細にご報告申し上げます所存です。

最後に、当社は去る4月17日に（社）日本民間放送連盟に再入会が認められたものの、会員活動は停止の状態が続いております。委員会のご指摘にもありますように、今後も完全復帰に向け、全社を挙げて改革の努力と意思を継続させていく所存です。

以上